

## 日本語教員養成課程【新基準】

適用年度および入学区分:平成29年4月以降入学の正科生および学士の学位(4年制大学卒業資格)を有する科目等履修生とする。

ただし、平成28年度以前入学生にも適用する。

修了要件:必修15単位(教育実習を含む)および選択必修2単位を含む27単位以上(うちスクーリングまたはライブ授業4単位を含む)

区分	科目名	単位	レベル	授業方法	必修・選択
社会・文化・地域	日本語教育	2	100	通信授業	必修2単位
	宗教学	2	100	通信授業	
	俳句と川柳	2	200	メディア授業	選択
	日本語教育特講	1	300	スクーリング 通信授業 ※いずれかを選択	
言語と社会	第二言語習得研究Ⅰ	1	300	通信授業	必修2単位
	第二言語習得研究Ⅱ	1	300	通信授業	
	異文化コミュニケーション	2	200	通信授業	選択
	異文化コミュニケーション演習	1	200	スクーリング ※日程未定	
言語と心理	学習心理学	2	100	通信授業	選択必修 2単位以上
	文化心理学	2	300	通信授業	
	認知心理学	2	300	通信授業	
	心理学総合演習	2	300	スクーリング	
言語と教育	日本語教育実習 注1)	2	400	教育実習 ※平成30年度開講	必修4単位
	日本語教授法A	1	200	通信授業	
	日本語教授法B	1	200	通信授業	
	日本語教育専門演習Ⅰ(仮称)	1	300	ライブ授業 ※平成30年度開講予定	選択
	日本語教育専門演習Ⅱ(仮称)	1	300	ライブ授業 ※平成30年度開講予定	
	日本語教育専門演習Ⅲ(仮称)	1	300	ライブ授業 ※平成30年度開講予定	
	日本語教育専門演習Ⅳ(仮称)	1	300	ライブ授業 ※平成30年度開講予定	
	日本語教育演習Ⅰ	1	300	メディア授業	必修7単位
	教育心理学	2	200	通信授業	
	オンライン教育概論	2	300	通信授業	
情報活用Ⅰ(基礎)	2	100	スクーリング		
対人コミュニケーションのトレーニング	2	200	スクーリング		
日本語の特徴と発音	1	200	通信授業		
日本語の文法と表現Ⅰ	1	200	通信授業		
日本語の文法と表現Ⅱ	1	200	通信授業		
日本語教育文法研究Ⅰ	1	300	通信授業	選択	
日本語教育文法研究Ⅱ	1	300	通信授業		
日本語教育読解研究	1	300	通信授業		
日本語教育聴解研究	1	300	通信授業		
英語表現Ⅰ(基礎)	2	100	通信授業		
英語表現Ⅱ(応用)	2	100	通信授業		
英語A(実用文法)	2	200	通信授業		
英語B(翻訳)	2	200	通信授業		
英語C(文書作成)	2	300	通信授業		
英語D(英会話)	2	300	スクーリング		
韓国語Ⅰ(基礎)	2	100	通信授業		
韓国語Ⅱ(応用)	2	100	通信授業		
中国語入門	1	100	通信授業		
プレゼンテーション概論	2	100	メディア授業		
プレゼンテーション演習Ⅰ(基礎)	2	100	メディア授業		
プレゼンテーション演習Ⅱ(応用)	2	200	通信授業		
コミュニケーション概論	2	100	通信授業		

注1) 日本語教育実習は平成30年度に開講する。

日本語教育実習を履修できるのは、在学2年目以降で以下の12科目13単位を修得済の者とする。

日本語教育	2
第二言語習得研究Ⅰ	1
第二言語習得研究Ⅱ	1
日本語教育文法研究Ⅰ	1
日本語教育文法研究Ⅱ	1
日本語の特徴と発音	1
日本語の文法と表現Ⅰ	1
日本語の文法と表現Ⅱ	1
日本語教授法A	1
日本語教授法B	1
日本語教育読解研究	1
日本語教育聴解研究	1
教育実習費用	別途徴収(金額未定)